

あなたと市議会

12月 定例会
No. 61 3月
令和2年1月15日号
9月 6月

横手市音楽発表会に出演した
横手清陵学院中学校の皆さん。
ソロパートの場面をおさめました。

横手明峰中



上田 あい 佐々木 悠平 谷口 真子

移住体験や交流イベントで
ハートもキャッチ！
「横手市移住推進大作戦」で
人口減少対策！

平鹿中

インスタを使ったフォトコンを！
宣伝は僕たちに任せて！
若い僕たちの方が
SNSを上手に使えるよ！



小杉 光 川崎 知己 戸田 啓

キラン

実現してね

十文字中

Fight!



糸井 颯太 佐藤 琢磨 藤川 美涼

十文字新庁舎を使って歴史ある
十文字映画祭の継続開催を！
閉校する小学校に
レンタル会議室やカフェを
作って地域活性化を！

横手清陵学院中

デザイナーズライブラリーや
複合型図書館が活性化のカギ！
次世代へと繋がる地域づくりを！



佐藤 颯太 田中 唯 半田 日向

中学生議員が一生懸命考えた政策提案を受け、
市長が中学生の期待にどのように応えていくのか。
今後の対応にも注目ですね。



秋田県横手市議会

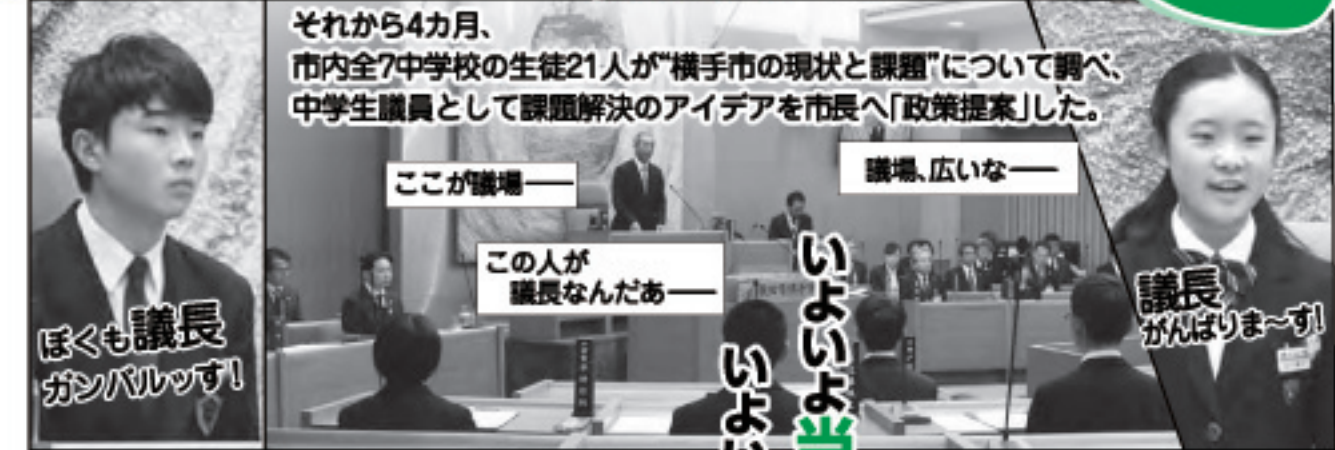
To be continued!!



7月31日 中学生と議員の 作戦会議

“ぼくたちの思いを
市長に届けよう”とする
この取り組みは、
夏のあの暑い日から始まった...

2019.11.14
ぼくたち・わたしたちの政策提案!!
Y8サミット創快横手市議会



それから4カ月、
市内全7中学校の生徒21人が“横手市の現状と課題”について調べ、
中学生議員として課題解決のアイデアを市長へ「政策提案」した。

ここが議場——

議場、広いな——

この人が
議長なんだあ——

ぼくも議長
ガンバレルっす!

議長
がんばりま〜す!

文化的種目もある
全世代参加型の雪中運動会
「冬の横手スポかるフェス」の
実施を提案!

横手南中



高橋 海音 山本 航陽 佐藤 広英

ふるさと横手のために
熱い思いを届けたい

いよいよ
いよいよ
発表——

もっと横手の
伝統文化やお祭りを
市民が知る機会を作って！
継承者を
増やさなくちゃ

増田中



伊藤 結姫乃 三浦 怜生 高橋 優

廃校舎の利活用策として
プールや体育館の一般開放を提案！
「スポーツ立市よこて」の発展に
つなげては？

横手北中



松田 康永 佐藤 岳人 山石 真智

安心して日々の生活を送るために

12月定例議会は、11月26日から12月11日までの日程で開催されました。市民生活に密着するさまざまな議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。
(奥山 豊和)

スクールバスを活用した有償旅客運送実証実験へ

民間の路線バスが撤退するなど、雄物川町館合地区を中心に交通不便エリアの解消を図るために、横手明峰中学校保有のスクールバスを活用した有償旅客運送「柏木（福地コミュニティセンター）～大森病院線」を新たに運行することになりました。

令和2年2月から令和3年3月まで週2日（1日2往復）の実証実験



市民の声を受けた止めた議会質問

これまでにも多くの議員が、スクールバスを活用した先進事例の調査を踏まえた会派代表質問や一般質問を行い、日々の生活の基盤となる公共交通の充実を重ねて訴え続けてきました。

議会の動き

特にこの地域では、議会報告会・意見交換会を開催する度に「生活の足」の確保を訴える切実な市民の声が多数寄せられていました。

主な論点

・料金徴収や高齢者の乗降介助など、運転手の業務の負担が大きいのではないか。
・マイクローバスの走行は、集落内の狭い道幅を考慮しているのか。
・スクールバス活用は制約があるものの、将来的に他の地域でも実施できるのか。議会報告会において地域公共交通の要望が多数ある。



和やかな雰囲気で行われた懇談会。市民に寄り添い、地域課題を共に考える「チーム横手市議会」

賛成討論

総務文教常任委員会において、奥山豊和委員より賛成の立場で、「この件は『チーム議会』の政策提言を受け止めていただいた結果だと敬意を表したい。質疑を通じて明らかになった安全対策等の懸案事項を解決し、地域の方々に喜ばれる公共交通を構築するきっかけとしてほしい」との討論がありました。

本会議で討論

公共施設の使用料見直しへ

反対 菅原 正志 議員
市町村合併以来の見直しであること、利用時間を1時間あたりとしたことには理解するが、公共施設マネジメントの観点で疑問がある。利用できる施設数、受益者負担の原則、減免制度の内容等を合わせて進めるべき。トイレの整備も必要。冷暖房費が利用料に含まれたことで、市の財政を圧迫しないか。

旧鳳中学校に「公文書館」を設置

賛成 土田 百合子 議員
これまでも一般質問を行い、平成24年、「公文書の保全管理を考えると」が要望書を提出した経緯がある。分散している公文書が集約され令和2年5月にスタートできることにより、市民の大きな財産となる。民間で保有する古文書の保存については、今後の課題として関係団体と協議を重ねてほしい。

決議 大森病院

厚生労働省による、地域事情を考慮せず、診療実績などの画一的な基準により行われた市立大森病院の再編、統合を促す公表に強く抗議し、住民が安心して暮らせる地域医療の構築を求める決議

厚生労働省が本年9月26日に突然公表した、公立病院等の再編、統合を検討すべき病院として、市立大森病院が名指しされたことは、当市の西部地区の住民をはじめ、関係者に大きな衝撃をもたらした。

この公表における対象病院とする根拠が、地域事情を全く考慮せずに、がんや心疾患、脳卒中など9つの領域で診療実績が少ないなどの画一的な基準であったことには、横手市議会として大きな疑問と憤りを覚えるものである。

市立大森病院は、市直営の高齢者等福祉センター、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、居宅支援センターで構成される横手市保健医療福祉総合施設「健康の丘おおもり」、そして、秋田県が設置した「南部老人福祉総合エリア」を含む福祉関係施設群の中核として、長年にわたり「地域包括ケアシステム」の実践に取り組んでおり、その実績は全国的にも高い評価を得ているところである。

また、横手医療圏で唯一の慢性期病床を有し、国民健康保険診療施設として「訪問診療」、「訪問リハビリテーション」や「夕暮れ診療」など、病院経営の観点からは採算性が悪いとされる様々な取り組みを実践しており、中山間部の多い当市の西部地区住民が寄せる信頼と安心感は計り知れない。

厚生労働省の公表後、横手市議会には地域住民から多数の署名とともに、存続を訴える陳情が提出されたほか、市議会と市民との意見交換の場でも、市立大森病院がなくなるのではないかと不安や存続を求める切実な訴えが多く寄せられた。

横手市議会は、地域の事情に目を向けることなく、地域住民を不安に陥れたこの公表に対し強く抗議するとともに、地方における医師不足や高齢化の進行、公共交通機関の整備などの諸課題が解消されないままに再編、統合の議論が進められることに強く反対する。

また、どの地域に住んでいても安心して暮らせる地域医療を構築する政策を関係機関に求めるものである。

以上、決議する。



令和元年12月11日 横手市議会

賛否が分かれた議案と審議結果

・この他の議案は全員賛成により可決されました。
○：賛成 ●：反対 退：退席 ※播磨博一議長は採決に加わりません。

案件名	会派・議員名	使用料の見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例	ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情	お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会の実現のため、社会保障制度の拡充を求める陳情	若い人も高齢者も安心して暮らせる年金制度の実現を求める陳情	議決結果			
						採択	不採択	賛成	反対
表決数						22	1	19	5
新風の会						○	○	○	○
	青山 豊					○	○	○	○
	加藤 勝義					○	○	○	○
	奥山 豊和					○	○	○	○
	佐藤 誠洋					○	○	○	○
	高橋 聖悟					○	○	○	○
	木村 清貴					●	○	○	○
市民の会						○	○	○	○
	山形 健二					○	○	○	○
	大日向香輝					○	○	○	○
	菅原亀代嗣					○	○	○	○
	菅原 正志					○	○	○	○
	齋藤 光司					○	○	○	○
	菅原 恵悦					○	○	○	○
さきがけ						○	○	○	○
	寿松木 孝					○	○	○	○
	播磨 博一					-	-	-	-
	塩田 勉					○	○	○	○
	佐々木喜一					○	○	○	○
新政会						○	○	○	○
	遠藤 忠裕					○	○	○	○
	小野 正伸					○	○	○	○
	佐藤 清春					○	○	○	○
	佐藤 忠久					○	○	○	○
日共産党						○	○	○	○
	鈴木 勝雄					○	○	○	○
	立身万千子					○	○	○	○
公明党						○	○	○	○
	土田百合子					○	○	○	○
みらい						○	○	○	○
	高橋 和樹					○	○	○	○
新緑会						○	○	○	○
	本間 利博					○	○	○	○

陳情の審査結果

採 択

- 医師養成定数を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について (秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基氏)
- 介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出について (秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基氏)
- ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基氏ほか1名)
- 厚生労働省が公表した公的医療機関の再編・統合の検討を要する対象から市立大森病院を除外することを要する陳情 (市立大森病院を守る市民の会 代表 成田 浩氏ほか4名)
- 「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院のおかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないこと」を国に求める意見書提出の陳情書 (秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳氏)
- 市立大森病院の再編統合に反対する陳情書 (大森地区会議 議長 備前 次雄氏ほか3名)

不 採 択

- お金の心配なく、国の責任で、安心して暮らせる社会の実現のため、社会保障制度の拡充を求める陳情 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基氏ほか1名)
- 若い人も高齢者も安心して暮らせる年金制度の実現を求める陳情 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基氏ほか1名)

議案pick up

- 「会計年度任用職員」制度への移行
法改正を受けて、市の臨時・非常勤職員の適正な任用・雇用条件が確保されることとなります。
- 旧南小学校敷地（雄物川地域）を売却
今後、JA 秋田ふるさとの米大型低温倉庫・野菜出荷施設として活用されます。
- 監査委員（議会選出）を選任 木村 清貴 氏

11月臨時議会の概要(11月15日開催)
市教育委員の任命に同意 今仲 和代 氏(大森・再任)

会議資料と審議結果はこちらからご覧いただけます。



菅原 正志 議員



Q 多目的総合体育館整備には合意形成が必要では

A 具体的な内容を示し、市民の意見を聞く機会が必要...

Q 全市での地区交流センター化は当初の目標どおり進んでいるか...



多目的総合体育館整備は市民との合意が必要...

Q DMO「横手市観光推進機構」の現状認識は

A 多様な関係者と合意形成を図り進めている...



3年前に市内で行われたDMO勉強会では平場の議論の重要性が強調されていた

奥山 豊和 議員



議長挨拶

チーム横手市議会では是々非々を貫く

横手市議会議長 播磨 博一

私はこれまでの2年間、議会改革に取り組み、さまざま提案を行い、議員各位のご理解のもと改革を進めることができました...

副議長挨拶

議長と理念を共有し権能を発揮

横手市議会副議長 高橋 聖悟

「アイデアオロギーやモノの見方考え方に違いあれど、市民のために『いいこと』という時はまとまって市長と向き合わなければならぬ...



高橋副議長

播磨議長

しらとり議員が解説します!

議会運営委員会

議会を円滑に、かつ効率的に運営するため、各会派から選出された委員により構成されています...



議会運営委員会の様子

私たちが議会運営委員です



木村 清貴 高橋 和樹 山形 健二 寿松木 孝 佐藤 忠久 菅原 恵悦 佐藤 誠洋 佐藤 清春 鈴木 勝雄 佐々木 喜一

しらとり議員が解説します!

広報広聴委員会

議会の議決により設置された特別委員会で、広報分科会と広聴分科会が活動しています...



子育て世代との意見交換会の様子

私たちが広報広聴委員です



本間利博 遠藤忠裕 青山 豊 菅原龍代嗣 加藤勝義 齋藤光司 菅原正志 立身万千子 大日向香輝 奥山豊和 小野正伸 堀田 勉 土田百合子



佐々木 喜一 議員



Q 災害時の不安解消にどう取り組みか

A 地区住民の声などを聞きながら進める

問 当市では防災マップを全世帯に配布しているが関心をもって見ている市民は少ないと思う。また、マップの内容に現実にそぐわない箇所も見られる。住民を交えた現状把握が必要と考えるがどうか。

答 マップはまだ浸透していないと捉えている。防災訓練やかまからFMなどを通じてマップの周知を図り、地域の実情に応じた避難の在り方を考えるなどの意識を高めていただく。マップの改訂は、国や県の災害想定区域等の見直しを踏まえて行う。

●公文書館で保管する文書は

問 現存する歴史的価値の高い古い文書について、公文書館に収蔵する文書とはどう区別するのか。

答 公文書館の保存対象となる公文書は、廃藩置県以降に当市の機関全ての業務において作成された特定歴史公文書としており16万冊



万が一に備え身近に置いていますか？「防災マップ」

にも及び。評価、選別作業が膨大となるため行政機関が作成した文書のみを対象とする。廃藩置県以前のさまざまな文書は図書館や資料館で引き続き保管する。

●物産展リトルよこてについて

問 開催の背景と経緯は。

答 事業者所得の向上を主目的に物産展を開催しているが、今回は商品の購入をきっかけとする「 hands 全体の顧客獲得」を目指した。ボランティアの応援もあり、賑やかに横手ファン獲得に向けてアピールができた。



加藤 勝義 議員



Q 防災ラジオの難聴不感地域対策は

A 難聴地域の世帯には個別に対応する

問 今年も多くの自然災害が発生し、多くの被害が出た。災害対策として、自助が大切と言われる。そのためには、災害発生直後の情報発信が重要となる。当市には情報伝達の一つに防災ラジオがあるが、いまだに難聴地域があると聞く。難聴不感調査と対応は。

答 防災ラジオについて、市内の一部地域において聴取できないという声をいただいている。実際に防災ラジオを用いて地域の状況を調査しているが、個別世帯の受信状況は十分でない状況だ。職員が訪問して設置場所やアンテナの調整を試み、それでも改善しないような世帯には個別に対応し難聴対策をする。

●防災行政無線について

問 現在アナログ防災行政無線を使用している地域の方々や、先般開催した議会報告会の参加者から、



令和4年に廃止されるアナログ防災行政無線

デジタル方式への移行に伴うアナログ防災行政無線の廃止に対し、不安や継続を求める声が多くあった。廃止することについて、住民にどのように説明し、理解を得ているのか。

答 一部地域では、地域局職員が集落座談会を通じて、期限までは使用するがそれ以降は使用できない旨の説明をしている。今後は各対象地域には、職員が訪問し順次説明をしていく。

■その他の質問

※SDGsについて

Q 会計年度任用職員制度とは

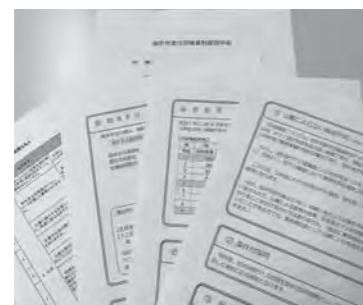
A 非常勤職員にメリットがある働き方になる

問 4月から「会計年度任用職員制度」が全国の地方自治体で施行される。地方行政の重要な担い手となっている非常勤職員の適正な任用と勤務条件を確保する目的であり、横手市では今議会に条例案を提案するなど準備を進めているが、現在勤務する職員にも市民にも詳細が分かりにくい。現行の非常勤職員との違いは何か。

答 期末手当支給や昇給制度導入等で収入が大幅に増える。また、休暇制度が拡充されるほか兼業が可能となるなどのメリットがある。収入面・働き方ともにデメリットはないが、地域の待遇水準からかけ離れると民間事業所での雇用確保に影響することが懸念される。

問 1号職員（パートタイム勤務）と2号職員（フルタイム勤務）の違いは何か。

答 1週間当たりの勤務時間が常



非常勤職員等向けに開催された説明会の資料

問 会計年度任用職員の任用期間は、専門職でも1年ごとの契約か。

答 市役所への勤務希望者に応募の機会を確保するため、連続2回までは公募によらず任用を更新できることとし、3年後から公募を行う。これにより継続して勤務する意欲と能力を備えた人は、市役所での勤続年数を問わず応募・採用が可能となる。

立身 万千子 議員



齋藤 光司 議員



Q 学区外スクールバス利用基準緩和を求める

A 多様な思い入れをくむわけにはいかない

問 指定学校変更許可は、保護者による通学手段の確保が必須条件となっているが現状はどうか。

答 指定学校変更の申し立てがあった際には、保護者の責任で通学の際の安全確保ができるか確認している。

その理由は何か。

問 指定の方が優先されるのではなく、公平で誰もが納得できる配慮をしているからである。

問 学区外通学児童生徒が250名を超える中で、一律の規制が子ども本位になっていると考えるか。

答 被災や家庭の事情の変化等、個々の状況による配慮が必要となった時は十分状況を確認したい。

問 現実に本当に困っている子どもがいるが、考慮はできないか。

答 特定の方が優先されるような事態は、教育委員会としては避けたい。



弾力的なスクールバスの運用が望まれる

問 地域の声としては、スクールバスに乗せてあげるべきという声

答 一義的には学区内の子どもを乗車範囲見直しを優先させたい。

問 スクールバスの乗車率が5割を下回り、かつ通学区域に関する規則に合致していない地域がある中で、学区外の子どもを一切乗せないことが子ども本位か。

答 一人一人の事情をくむことになると、今まで積み上げてきた基準が崩れる。スクールバスは福祉的な運行が目的ではない。多様な思い入れをくむわけにはいかない。



高橋 和樹 議員



Q 地域における高齢者の支援体制は
A 在宅医療と在宅介護を支える仕組みづくりを確立させたい

問 地域における高齢者への在宅介護を取り巻く環境は悪化していると思う。行政ができる支援は。
答 先進的に医療・介護・福祉の他職種連携を推進し、在宅医療連携推進係を専属で配置するなど、在宅医療と在宅介護を支える仕組みづくりを確立させている。当市独自に認知症総合支援事業に取り組み、認知症の方やその家族への支援を包括的・集中的に行う初期集中支援チームを設置、認知症の早期発見、早期対応に努めている。

問 高齢者の自立した生活の維持について行政ができることは。
答 いきいきサロンなどの社会参加や閉じこもり予防など、身近な地域での活動を重視した地域活動を継続する。公民館単位・町内会単位での健康教育・健康相談をさらに充実させながら、特に「うつ傾向、認知症、閉じこもり、低栄養、口腔機能」など、関係機関との連携を強化していく。

問 今後の方向性については。
答 会計年度任用職員については来年度の任用予定を1300人程と見込み、多くの非常勤職員に能力を発揮いただく。職員の定員適正化計画については、市民サービスの維持向上に配慮しながら民間化や民間委託、業務の効率化、指定管理者制度のさらなる導入を進め、継続して職員の削減を進めるよう適正な目標を定め達成を目指す。

問 市直営の除雪作業員の確保が難しい一方、今期から農事組合法人への除雪委託が実施される。冬期間の収入確保で経営面からも期待される、業者委託および市直営除雪の方向性を伺う。
答 非常勤職員の待遇改善を図りながら雇用確保に努めていく。一方、地域の生活道路をよく把握している委託事業者と連携を図り一定の委託路線拡大を行い、安定した除雪体制を構築していく。



老老介護の増加により在宅介護を行う家族などへの支援も今後重要

問 市直営の除雪作業員の確保が難しい一方、今期から農事組合法人への除雪委託が実施される。冬期間の収入確保で経営面からも期待される、業者委託および市直営除雪の方向性を伺う。
答 非常勤職員の待遇改善を図りながら雇用確保に努めていく。一方、地域の生活道路をよく把握している委託事業者と連携を図り一定の委託路線拡大を行い、安定した除雪体制を構築していく。



安定した除雪体制の確立を

問 スキー授業を円滑に行うことを含め環境整備が求められている。天下森スキー場と、存続要望の陳情が採択された横手公園スキー場の方向性について伺う。
答 天下森スキー場は、既存のヒュッテの増改築を含めたスキー場全体の計画策定に向け、準備を進めている。横手公園スキー場は緩斜面について調査を進めており、年度内に結果と方向性を報告する。

問 園芸作物の振興を拡大することとは、少ない農地を活用して収益性が高い作物を栽培できるため、所得向上に結び付けることに有効だ。家族農業でも安心して作付ができる施策と、新規作付に対しての当市の施策および支援対策をどのようにするのか。
答 規模の小さい農業者には、市の農業再生協議会を通じた産地交付金や市単独事業等の生産力強化対策により、家族農業の皆さまが継続して取り組めるよう引き続き施策を講じていく。

問 JA秋田ふるさと農産物総合分析センターの活用について、市として地域ごとの分析結果をまとめ、振興する作物等の選定が必要と考える。JAと連携して支援する具体策とは何か。
答 診断結果に基づく施肥設計、施肥管理をサポートし、引き続き



土田 百合子 議員



Q 地域に開かれたコミュニティ・スクールの導入を
A 一部モデル地区を選定するなど段階的に進める

問 コミュニティ・スクールを1校以上導入している市町村は県内に10市5町村あるが、当市でも導入すべきでは。
答 来年度は、県のアドバイザーを活用し、市内小中学校の校長や教頭、関係職員を対象に研修会を予定している。

問 SNSを活用したいじめ相談事業の導入は
答 先に実施している自治体での実績やノウハウの蓄積が行われているが、迅速に対応するための人員確保などの点において課題が多く、開始には慎重な検討と準備が求められる。

問 中学校等の生徒を対象に、SNSを活用した「いじめ相談事業」が全国的に普及しつつあるが、当市の実施についての考えは。
答 先に実施している自治体での実績やノウハウの蓄積が行われているが、迅速に対応するための人員確保などの点において課題が多く、開始には慎重な検討と準備が求められる。

問 戸波橋の修繕計画は
答 懸案事項として確認しており、平成22年に橋梁上部工の一部修繕を実施している。全橋梁において一巡目の点検が平成30年度に終了し、この結果を踏まえ今年度、「横手市橋梁長寿命化修繕計画」を策定中である。今後は、この計画に基づき修繕を順次行い長寿命化を図る。



昭和46年に完成し老朽化が進む戸波橋

問 JAと連携、支援していく。
問 農産物の競争力強化対策として農業生産工程管理(GAP)の推進が必要不可欠と思われるが、進捗はどうなっているか。
答 JAの取り組みを支援し、関係機関とも連携し、安心安全な農産物の生産への支援を継続する。

問 卸売市場へのPRや、JAおよび各生産者部会との販売支援体制の構築についての具体策は。
答 農産物の良さを意識してもらえよう、市とJAが一体となった産地PRを行った。

問 産地交付金や市単独事業により支援する
Q 園芸作物の振興拡大への支援対策を問う



収益性の高い園芸作物振興への支援が求められる



産業建設常任委員会の様子

産業建設常任委員会

令和3年度から
上下水道メーターの検針を
隔月で実施に

横手市議会ホームページ産業建設常任委員会のページをご覧ください。



◆横手市水道事業給水条例の一部を改正する条例

問 検針コスト削減を目的に、令和3年度から上下水道メーターを隔月検針、隔月徴収にすることを、どのくらい削減されるのか。また、削減した分は利用者に還元できないか。

答 年間900万円程度のコスト削減を見込んでいるが、事業全体からみると少額である。また、横手市水道事業経営戦略の中で料金改定をうたっているが、その時期が早まることのないようコスト削減に取り組みうとするものである。

問 支払いを口座振替にしている場合、振替不能となる心配はないのか。

答 検針は隔月となるが、均等に使用したとみなして、口座振替を毎月行うため、心配はそれほどないと思われる。

問 漏水の発見が遅れる心配はないか。またその対策は考えているのか。

答 通常より使用量が増えた場合、検針票にメッセージが印字される仕組みは従来通りだが、隔月になるこ

とにより漏水の発見が遅れることは否めず、その分の料金が賦課されてしまう。その対策として、漏水減免制度の対象期間を2カ月から4カ月にする見直しを検討している。

◆公の施設の指定管理者の指定について（まめでらが、道の駅十文字）

問 以前、道の駅へのテナント入居を希望しながら手続きに時間がかかったため諦めたというケースがあった。テナントの選定は市が行っているとのことだが、現場を管理する指定管理者が主体的に行うべきとの意見もある。これについてどう考えるか。

答 テナントに入る業者の募集にあたっては公募により行っているが、募集、審査、店舗の改装等があるため、開業までには相応の時間がかかってしまうのが実情である。選定については、行政財産の使用許可に関わるため市が行っているが、指定管理者側にも選定委員をお願いしている。今後募集をする際には、指定管理者の意向を大事にしながら進めていきたいと考えている。



産業建設常任委員会テーマ

産業建設常任委員会の担当業務は、農・林・商・工業をはじめ、インフラ、温泉施設等、非常に幅広く、市民生活に密着しているため、時々刻々と変化する課題に速やかに対応することが求められます。

中でも、市の基幹産業である農業分野では、よこて農業創生大学事業を核とした各種取り組みについて評価検証が必要と考えます。

また、インフラ整備加速化事業の終了は市民サービスの低下を招くことから、後継事業の実施について提言していくこととします。

横手駅東口の再開発事業については、「横手の顔」の再生のため、事業の進捗状況を注視していきます。

私たちが産業建設常任委員です



木村 清貴 遠藤 忠裕 高橋 和樹 菅原 正志
塩田 勉 加藤 勝義 (委員長) 鈴木 勝雄 (副委員長) 菅原 恵悦



議長に多くの署名とともに陳情書を手渡しする市立大森病院を守る市民の会の皆さん

厚生常任委員会

大森病院の再編統合に
反対する！！

横手市議会ホームページ厚生常任委員会のページをご覧ください。



◆陳情審査

・厚労省が公表した公的医療機関の再編・統合の検討を要する対象から市立大森病院を除外することを要望する陳情

・「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院のおかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないこと」を国に求める意見書提出の陳情

・市立大森病院の再編統合に反対する陳情

審査前に市立大森病院の小野副院長との意見交換を行った。その後、市立大森病院の再編・統合に関する審査を行い、

委員より、「市立大森病院は西部地区の中核をなす施設だ。厚生労働省が進める地域包括ケアシステムの根幹を自ら無くすような矛盾した公表であり、非常に残念である。この地域から絶対に無くすことができない施設であり、大事にしながら今後

の地域医療、地域包括ケアシステムの推進に向かって行くべきだ」との意見があった。

いずれも起立全員により採択すべきものと決定した。

◆健康の駅 西部トレーニングセンターを視察

当市の健康の駅事業は全国的に注目されている。西部トレーニングセンターは県の南部シルバーエリアとの連携により、近年利用者数が増加し、市民の健康増進に役立っている。視察では、中小規模健康の駅で利用されており、運動の成果が数値と見られるように導入された「体成分分析装置」を体験できた。健康の駅事業の今後の広がりに向けて期待が持たれる。



「体成分分析装置」を体験

私たちが厚生常任委員です



高橋 聖悟 佐藤 誠洋 山形 健二 佐藤 忠久
寿松木 孝 立身万千子 (委員長) 本間 利博 (副委員長) 齋藤 光司



厚生常任委員会は「高齢者支援」を研究課題として活動します。

高齢化が進む中、これまで開催された「議会報告会・意見交換会」では、高齢者に優しい政策を求めるとご意見を多くいただいております。

豪雪地で、山間部の多い当市では、特に「除雪」と「日常の買い物」に苦労されている高齢者の方が多いという実情もあります。

こうしたことを踏まえ、厚生常任委員会では、高齢者の方が、豪雪地・過疎地であっても、安心して生活できるように行政からの支援方法について、政策研究を行うことといたしました。

政策立案委員会と「まちとしょテラソ」

9月26日(木)／長野県小布施町

長野市北東部に位置する長野県一面積の小さい自治体。江戸時代から交通の要衝として栄え、観光と農業(特に栗が名産)が中心の町。また、オープンガーデン、まちじゅう図書館等住民参加のまちづくりをしている。

ポイント

- 政策立案委員会
 - ・住民参加の開かれた議会の推進
 - ・議会での政策提案
- 町立図書館「まちとしょテラソ」
 - ・特徴的でいろいろな企画が人気
- 議員の「なり手不足検討会」
 - ・無投票選挙が3回続いている



まちとしょテラソ公式キャラクター「テラソくん」

視察を終えて

- ▶面積 19.07 km²のコンパクトな町のためか住民と非常に近い行政だと感じた。
- ▶自宅の庭を提供し観光客に自由に見学させたり、自宅を開放し「まちじゅう図書館」として参加した住民の協力が町政や議会の問題解決にも影響していると思った。



全国トップクラスの議会改革

9月25日(水)／長野県飯綱町

長野県北部に位置し、平成の合併で2村が合併し町制が執行された。基幹産業はりんごと水稲を中心にした農業である。

この10年間議会改革を進め、全国トップクラスの改革を実現し、今に至っている。

ポイント

- 議会改革に向けて
 - ・チーム議会として政策力の向上を目指している。
 - ・持続的改革の実践が必要。
- 議会をよく知ってもらうために
 - ・議会への住民参加として政策サポーター制度を実施。
 - ・議会白書の提出(全国初では?)

視察を終えて

- ▶チーム議会としての目的があり、持続、継続していかなければいけないとする決意が伝わってきた。
- ▶議会力は向上したが議員力はまだまだとのことだった。継続していくことが大事との姿勢はこれからも続けたいとのことだった。



(遠藤 忠裕)

議場へようこそ

12月2日(月)、醍醐小学校6年生29名、植田小学校6年生9名、横手支援学校高等部3年生13名の皆さんが市議会一般質問を傍聴しました。

醍醐小学校 6年生



- ・言葉が難しく大変だったが、市をよりよくしようと話し合いをしていることがよく分かりました。
- ・議員の方々は、市民の代表としてみんなのためをお願いなどを出して頑張っていました。
- ・今回出された一般質問について、自分でも考えていきたいです。

植田小学校 6年生



- ・市議会傍聴をきっかけに、市議会議員になって人の役に立ちたいと思いました。
- ・横手市がいい方向に向かうために市議会はとても大切なものだと思います。
- ・十文字統合小学校の話し合いも簡単じゃないと改めて思いました。

横手支援学校高等部 3年生



- ・いいまちにしようと細かく質問や話し合いをしていて、すごいと思いました。
- ・横手市をよくするために頑張ってもらいたい。
- ・議会の皆さんの真剣な姿を見てすごいと思いました。

総務文教常任委員会

横手市公文書館

令和2年春のオープンに向け 運営体制等準備進む



横手市公文書館の視察を実施

横手市議会ホームページ総務文教常任委員会のページがご覧いただけます。



【問】以前の一般質問の答弁で「民間に存在する古文書等の書類については収蔵する考えはない」とのことだったが、その点は変わっていないか。

【答】公文書館整備運営計画を基に事業を進めており、廃藩置県以降に行政で作成した文書のうち、平成23年度から24年度に調査した16万冊について評価・選別し、公開することを第一目標としている。中には市史編さんに係る部分で古文書のような資料も含まれているが、現時点ではそれ以外の収蔵は想定していない。

【問】公共施設の料金を上げるのであれば、修繕を担保しなければ市民の納得は得られないと思う。老朽化が著しく、この先どうするか決まっていなない施設について、料金の値上げだけを市民にお願いしても納得してもらえないのではないか。

【答】計画は複数ある同種の施設を今後どうするかということからスタートしているため、使用頻度が高いから残すという考えとは逆の考えも入っている。使用頻度と全体的な施設の配置具合を見ながら進めるため、必ず修繕するとは言えない。ローリングの結果、長寿と判断されたものについては当然修繕していく。



総務文教常任委員会は次の2つの事項を研究課題として活動します。

《災害時の避難計画の検証》

- 避難所の巡回による現状の確認
- 備蓄、ライフラインの状況確認
- 防災マップを使った自主避難の検証

《横手市財産経営推進計画(FM計画)の検証》

- 「公共施設の在り方に関する調査特別委員会」報告の進行状況の確認
 - 個別施設計画と施設カルテの検証
 - 市民に対する計画の浸透度、理解度の促進
- いずれも非常にボリュームのある課題ですが、緊急を要する問題でもあり、積極的に研究を行います。

私たちが総務文教常任委員です



奥山 豊和 大日向香輝 小野 正伸 土田百合子
 佐々木喜一 青山 豊 菅原亀代嗣 佐藤 清春
 (委員長) (副委員長)



10月

- 2日 静岡県清水町議会行政視察受け入れ
大分県杵築市議会行政視察受け入れ
- 3日 FM番組収録
- 9日 愛知県半田市議会行政視察受け入れ
- 15日 **議会報告会・意見交換会【P16・17】**
(~25日)
- 16日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 23日 会派代表者会議、全員協議会
- 24日 青森県外ヶ浜町議会行政視察受け入れ
- 30日 北海道岩見沢市議会行政視察受け入れ

11月

- 1日 新潟県三条市議会行政視察受け入れ
- 5日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会、産業建設常任委員会協議会、広報広聴委員会広聴分科会
- 7日 秋田県南高規格幹線道路建設促進期成同盟会合同要望会(仙台市、東京都・~8日)
- 12日 長野県駒ヶ根市議会行政視察受け入れ
- 14日 **Y8サミット創快横手市議会【P2~3】**
- 15日 市議会11月臨時議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、厚生常任委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会
秋田県南地域市議会議員研修会(仙北市)



仙北市、大仙市、湯沢市、横手市の市議会議員が一堂に会し、広域的課題の共通認識と相互協力に向けた研修を開催しました。

- 18日 鳥取市議会行政視察受け入れ
埼玉県熊谷市議会行政視察受け入れ
- 19日 **秋田県市議会議員研修会(秋田市)**



県内の市議会議員が一堂に会し、議会改革の先進地である福島県会津若松市の前議長 目黒章三郎氏よりご講演いただきました。

- 20日 正副委員長会議、議会運営委員会、委員長会議、全員協議会、会派代表者会議、タブレット端末活用推進会議、広報分科会、FM番組収録
- 21日 **雄物川高校生徒と横手市議会との懇談会(雄物川高校)【P16~17】**
- 群馬県議会行政視察受け入れ
- 22日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会(秋田市)
- 25日 秋田県市議会議長会臨時会(秋田市)
- 26日 **市議会12月定例議会(~12月11日)【P4~14】**
- 28日 広報広聴委員会広報分科会

12月

- 2日 議会運営委員会、広報広聴委員会広聴分科会
- 4日 議会運営委員会、全員協議会、議員連盟総会、会派代表者会議
- 9日 正副委員長会議、議会運営委員会
- 11日 全員協議会、議員懇談会、議会運営委員会、ICTプロジェクト会議、議会改革推進会議
- 12日 広報広聴委員会広報分科会
- 17日 **植田小学校ゲストティーチャー**



植田小学校の4年生と6年生の児童がこれまで考えてきた横手の課題(ゴミ問題・福祉など)について、議員と意見交換する授業を行いました。

- 18日 広報広聴委員会広報分科会、FM番組収録
- 20日 広報広聴委員会広報分科会



響鳴 ~新しく創る青春の丘~

横手清陵学院中学校 生徒会

横手清陵学院中学校は、今年で開校16年目を迎えました。校訓「切磋琢磨~学べ 競え 望め」のもと、全校生徒が互いに学び合い、競い合い、高め合いながら学校生活を送っています。

今年度は、各学年が互いに響き合うことで、学校全体が一体になるように「響鳴~新しく創る青春の丘~」という生徒会テーマを掲げ、さまざまな活動に取り組んできました。特に新しい企画として、縦割り班による朝のあいさつ運動を実施しました。学年を越えて活動することで、一体感を醸成することができたと感じています。Y8サミット創快横手市議会に向けた提案作りでは、中高一貫校の強みを生かし、中学生だけではなく高校生へのアンケートも実施し、その意見を取り入れた提案をすることができました。

これからも、中高一貫校の良さを生かし、地域の皆さんに「さすが清陵」と言ってもらえるよう全校生徒一丸となって努力をしていきたいと思ひます。



横手清陵学院中学校 生徒会執行部の皆さん

編集後記

あけましておめでとうございます。
新しい委員を迎え気持ち新たに、より分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけて参ります。広報広聴活動の充実により市民の皆さまの声を反映し、より開かれた議会実現のためにチーム一丸で取り組む私たちにこれからもご注目下さい。(奥山 豊和)

◆広報広聴委員会広報分科会◆



- 分科会長 奥山 豊和
- 副分科会長 大日向香輝
- 委員 青山 豊
- 委員 土田百合子
- 委員 加藤 勝義
- 委員 遠藤 忠裕
- 委員 菅原亀代嗣



横手市議会公式 Facebook



いいねしてね♡

